



定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！
 生育は大雪により平年並みかやや遅れる予想ですが、融雪が進んでいる地域では生育が早まる可能性があります。病虫害の防除は予防を意識し、早め早めの散布を実施しましょう。
 また、2022年の栽培日誌を配布いたします。防除記録の徹底・提出をお願いします。

病虫害防除

◎発芽前の薬剤散布 散布時期：3月下旬～

散布薬剤	水	90 ℓ当り	散布日 月 日 散布量 ℓ
	展着剤	10mℓ	
	石灰硫黄合剤	10 ℓ（発芽前、-）	
対象病虫害	（黒星病）、カイガラムシ類		
散布量	10a当り 300 ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。		

（特別防除）カイガラムシ対策

防除薬剤	アルバリン顆粒水溶剤（前日 塗布は1回、散布は3回以内）
防除方法	① 地際部から第一主枝の間の主幹を30cm程度、粗皮を削る ② 水：薬剤＝1：1（2倍）の割合で混合する ③ 粗皮を削った箇所に調合した薬液をハケで塗り付ける （目安：若木は20mℓ程度、幹の太い木は40mℓ程度）

《注意事項》

- ① 【代替】石灰硫黄合剤に替えてスプレーオイル50倍でも良い。
- ② 石灰硫黄合剤は隣接するビニールハウスにかからないようにする。
- ③ 主幹害虫対策：ガットサイドSの1.5倍液（45日前、2回）を主幹部・主枝及び垂主枝の分岐部に塗布または散布する。

次回：4月17日 予定
 内容：4月下～5月上旬散布

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう